

福祉だより 信州



特集

「一人も取り残さない」防災の取組の今

No.

803

2023 2月号

「一人も取り残さない」 防災の取組の今

医療的ケア児にとって災害時の電源の重要性を説明する県医療的ケア児支援センター亀井副センター長（11月3日（木）、長野市更北公民館で開催された「誰も取り残さない防災訓練」から）

令和3年5月、災害対策基本法等が改正され、市町村への災害時要援護者の個別避難計画作成の努力義務化や、福祉・介護事業所のBCP（事業継続計画）の義務化などが規定されました。災害時に「一人も取り残さない」ための防災の取組の今を追います。

「医療的ケア児家庭とEVボランティアのつながりづくり事業」から

重い障がいがあり、医療的ケアを必要とする方々も自宅で暮らすことができるようになりました。一方で、停電が起きて医療機器の電源が失われた場合には30分〜40分で命の危険が生じる場合があります。

令和元年台風第19号では、長野市北部で千曲川の堤防決壊に伴う浸水被害が広がり大規模な停電が発生しました。長野市豊野地区に住む人工呼吸器を使用している子どもがいる世帯では、人工呼吸器の電源を求めて「親戚宅を訪ね歩いた」とのことです。

このようなケースに対応するため、EV等の給電車（電源がとれる車）の活用が期待されており、各自動車販売店も協力を申し出ていますが、電源を必要とする個々の家族とのマッチングの仕組みはまだ整っていませんでした。

そこで、長野県社会福祉協議会では、今年度、中央共同募金会の助成を受けて、「医療的ケア児家庭とEVボランティアつながりづくり事業」に取り組んでいます。令和4年11月3日、長野市更北公民館を会場にして、更北地区住民自治協議会と共催によりこの訓練を開催しました。参加した地域住民は、長野トヨタが提供した水素自動車「MIRRA」からの給電に興味深々。コーナーを訪れた家族には、県医療的ケア児支援センターの亀井副センター長が「プールに入っていると息苦しくなることがあるよね。その状態が続いているの」と例えながら、人工呼吸機を必要とする医療的ケア児の実情を説明しました。

同住民自治協議会では、この体験イベントを踏まえて、地域でEV等の給電車を所有している住民に電源ボランティアの登録を呼びかけており、今後、希望する家庭とのマッチングに取り組みしていく予定です。

「防災福祉カンタンマップ」で、緊急時安否確認情報の共有の課題に対応

医療的ケア児者家庭は、日常的に医療福祉の支援機関との関わりがあり、十地域ごとに医療的ケア児支援者コーディネーターが配置されています。

令和元年台風第19号においては、これらの家庭と支援者間の安否確認の連絡体制にも課題があると明らかになりました。

医療系の専門職間では、様々な電子カルテシステムが活用されています。しかし、災害時に近隣に住む電源ボランティアとも情報を共有することを想定すると、最低限の個人情報に絞ってスマホから活用できる簡潔な仕組みが必要です。

そこで、つながりづくり事業では、(株)サイボウズのキントーンを活用した「防災福祉カンタンマップ」を活用して、専門職支援者と地域の電源ボランティアの情報共有の仕組みづくりを試行しています。

防災福祉みんなのやる気を応援するアプリです

防災福祉カンタンマップ

略して「災福マップ」って言ったって

▲サンプル画像

地区防災訓練でも「災福マップ」が活躍

「災福マップ」は、さらに、地域の防災訓練でも活用が始まっています。

12月18日、松本市島内地区島高松町会の安否確認訓練では、災福マップを活用し、地区役員が確認した安否確認情報をスマホから訓練本部に送信しました。

これらの情報は、本部のパソコンの災福マップ上に表示され、ハザード情報とも重ね合わせて見ること、一人も取り残さない避難支援を助ける効果が期待されます。

島内地区の勝家隆支所長は「複数人が入力すること、本部で確認できると分かりやすかった。皆が操作に慣れれば心強いと思う」と訓練を振り返ります。



松本市島高松町会の確認訓練の様子(12月18日)

社会福祉法人のBCP策定済は「30%」

長野県社会福祉法人経営者協議会が令和4年4月、会員法人に行った調査によると「BCPを策定済・策定中」と回答したのは、411事業所のうち、124事業所で30.2%となっています。

施設入居者のもとより、在宅サービス利用者も含めて、一人も取り残さない支え合いの仕組みを作っていくためには、近隣の助け合いと福祉専門職の支援の力が必要です。地域の防災訓練などで、住民組織と福祉・介護事業所が情報を共有し、連携と役割分担を具体化していくことが、今求められています。

日頃のつながりを活かして「現場」が頼れる「県センター」を目指します！

災害に強い地域づくり

日頃からつながり、災害時にも頼れる
本部機能

令和4年4月～

長野県社協 災害福祉支援本部

4本の矢で推進！

現場で判断できる職員、現場の声を尊重する
組織風土

防災福祉の推進



- 災害時要援護者支援
- 平時のつながりづくり
- 災害時の総合相談、貸付
- 地域ささえあいの備え

災害ボランティアセンター運営支援



- 長野県との協定
- 重機系団体との協定

- DSATの養成、派遣
- 市町村ごとの「協定」促進、活動環境整備

「災福ネット」の活動促進



- 長野県との協定

- 災害派遣福祉チームの養成、派遣
- 施設BCP策定支援

企業、NPO等、他分野との連携



- 企業等との協定

- N-Net(長野県災害時支援ネットワーク)への参画
- 災害ボランティア応援企業ネット「サスながの」の見学

災害コミュニティソーシャルワークの確立、支援情報を「アプリ」で共有

オンライン開催予告

3月12日(日)
～14日(火)

3月12日(日)
午後

「第5回災害時の連携を考える長野フォーラム」(主催：長野県災害時支援ネットワーク)

3月13日(月)
午前 午後

「災害VC応援企業パートナーズ《サスながの》」キックオフフォーラム
「医療的ケア児家庭と地域のつながりづくり事業報告会」(主催：県社協)

3月14日(火)
午前

「災害コミュニティソーシャルワーク実践研究セミナー」(主催：県社協)



コロナだからこそ、大事なわたしのまちの集いの場

新型コロナウイルス感染症が流行して、もう5年。
誰かと会っておしゃべりすることが、やっぱり大事だと、
集いの場をコロナ禍でも続けたところや、最近再開したところがあります。
そんな県内の集いの場をいくつか紹介します。

話して笑って歩いて
これが介護予防



これからも
必要だとやってきたことを
続けていきたい!

軽井沢町 Karuizawa Town

通いの場代表者集会「感染予防Play!」

軽井沢町では、現在24の地区で地域住民が主体となって開催する「通いの場」があります。その代表者が集まる「通いの場代表者集会」では、より良い運営や環境づくりのための意見交換会や交流会が行われています。この日のプログラムは「コロナ禍だけど、飲食を伴う集いをやりたい」という代表者の思いから、「感染症予防Play!」が開催されました。

当日はスタッフを含め30名程が参加し、どうしたら開催できるか、グループに分かれ感染症のリスクを下げるためのワークショップを行いました。

参加した方からは「参加する全員がリスクを理解して、協力をする必要がある」「みんながみんなのことを考えながら、これからも続けていきたい」という声が聞かれました。実際に行った工夫は、今後軽井沢町社協から共有をしていく予定です。

感染予防Play!とは…

コロナ禍において地域で活動する多くの皆さんの安心と安全を後押しするために、正しい知識と対処スキル、それぞれの活動に応じた感染症対策を考えるための「対面で開催する」プログラムです。

進行役は、このプログラムを作ったNPO法人Issue+designのワークショップを受けたファシリテーターが行います。県内には35名の「感染予防Play!」ファシリテーターがいます。自分の地域でも行いたい!という方は、長野県社協 まちづくりボランティアセンターまで、お気軽にご連絡ください。



お問合せ 長野県社協 まちづくりボランティアセンター

tel: 026-226-1882 / mail: vcenter@nsyakyo.or.jp
[NPO法人Issue+design]
<https://issueplusdesign.jp/project/coronaplay/>



詳しくはHPを
ご覧ください





筑北村 Chikuhoku Village

向原サロン

筑北村の向原地区で行われている「向原サロン」。この日は、風呂敷を使ったバッグやリュックの代用品などを参加者9名で実際に作りました。この風呂敷活用術は、シニアクラブで開催した講座から、自分の地域でもやってみようと思ったそうです。「真結び」という結び方に皆さん少し困惑。「文字で見ると難しいねえ」という声もあがりました。いつもの結び方が真結びの方もおり「どうやるの?」と教え合いながらバッグをつくりました。

実は、取材をした日は代表の方が体調を崩されていて欠席。中止にすか迷ったそうですが、「やっぱり、集まりたい。この日を逃したら、2月になっちゃうもの」と声があがって、それならやろうと開催したそうです。月に1度のサロンの日「みんなが続けていきたい」そんな思いを感じました。

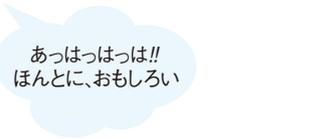


辰野町 Tatsuno Town

泉会

辰野町の宮木区泉水で行われている「泉会」この会は、介護予防のための集まりです。「泉会」の始まりは、草の根的に行っていたお茶のみ会から、町の進める介護予防事業をうけて始まった会で、今年で15年になります。コロナ禍でも、緊急事態宣言が出ている時期以外は毎月開催。地区のみんなに来てもらいたいと、会の代表はその日行ったことを紙にまとめ、回覧するそうです。

この日のプログラムは辰野町社協ボランティアセンターが行うストレッチとゲーム。参加者は14名ほど。脳トレのストレッチや、お手玉を使ったゲーム、椅子取りゲームならぬハート取りゲームなどを行い、「こりゃダメだ〜」「わっ! 負けた〜!」「台が壊れる〜」など始めから終わりまで、ずっと笑い声が絶えない、そんな会でした。



安曇野市 Azumino City

木戸地区ミニサロン

安曇野市の木戸地区で行われている「木戸地区ミニサロン」この日は、年が明けてから初めての集まり。10名ほどが集まり、参加者から野沢菜や柿のゼリー、チヂミに干し柿とごちそうが集まりました。コロナ対策もバッチリ。食べるときはパクっと口に入れ、話すときはマスクをして、のんびりした楽しいひと時を過ごしました。

今年でサロン開催から8年目。毎月第3木曜日が集まる日です。クリスマスとお正月両方飾れるしめ縄リースづくりや、クラフトテープのお雛様づくりなど、四季折々のプログラムと美味しいもので過ごします。参加した方が「こういう日を待ってるだ。また、来月もと思って生きてるだ」とニコニコ笑顔で教えてくれました。



人と顔を合わせて話しあう、笑いあう、それが「生きがい」と「健康」をつくっていました

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
賠償責任	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)			初日から補償	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
	年間保険料		350円	500円	550円	

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ21-10723より抜粋して作成)

令和4年度 社会福祉施設 総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

**スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!**

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償

新型コロナウイルスを含む特定感染症に新たな補償が追加されました!

NEW 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

(SJ21-12224から抜粋)



北相木の暮らしと人の輪を 未来へつなぐキノハナ

北相木村は、村の面積92%が森林として豊かな自然が魅力であり、木工など地域の産業にも関連しています。しかし、村内には特に子育て中の女性や、定年を迎えた方が働ける場所が課題としてありました。そこで、村の女性が集まり2018年9月、女性が輝ける場所と木材の有効活用をテーマとしたグループ「キノハナkinano」(以下、kinano)が立ち上がりました。

Kinanoでは、木を削った際に出てくる“かんなくず”を利用したお花“キノハナ”を作っています。丁寧な手仕事より生まれる、バラやカーネーションなど様々な種類があり、草木染された自然な色合いを持ちます。さらに枯れることのないお花として、経年変化を楽しみながら永続的に飾ることができ、生活の中で木の香りを感じることができます。木工所から出る端材も活用し、木材の廃棄ロス削減にもつながっています。



自然のやさしさと創り手の思いがこもった
オンリーワンの作品



木の香りと作品に囲まれた作業場メンバーとの
会話も楽しみの一つ

「ゼロから作ることの難しさはありますが、完成した時の楽しみや、おもしろさがあります」とメンバーの皆さんは笑顔でキノハナづくりについて話してくれました。女性が働きやすく、地域木材を利用したキノハナづくりは、つくり手の技が光る世界に一つの花として、メンバーの自信と誇りを持てる仕事になってきました。現在メンバーは30代～70代の女性達7名ほど。子育て中の方や移住してきた方などが交流しながら活動できるつながりの場にもなっています。作品づくりへのアイデアやデザインなどを皆で出し合いながら、キノハナの可能性と魅力をどんどん広げています。その魅力は、県内から全国まで届き、ウェブ上での販売や全国規模のコンテスト装飾に使われるようになってきました。

また、Kinanoの活動は、村の自然や木を身近に感じる暮らしを伝えるワークショップとして公民館や地元小中学校でも開催しています。ひとつのつながり・自然のつながりの輪を未来につないでいくキノハナは、これからも丁寧に花を咲かせていくことでしょう。



<https://kinohanakinano.stores.jp/>



ホームページ
から商品などを
ご覧いただけます

介護の日ポスターが信濃毎日新聞社の広告特別賞を受賞しました



▲信濃毎日新聞社 中田様から本会竹内
常務理事に記念品が贈呈されました

長野県社協が5年ぶりに作成した介護の日(11月11日)ポスターが、信濃毎日新聞社から広告特別賞(11月期)を受賞しました。

撮影場所はレトロ感あふれる大町市の大町名店街。北アルプスの風法人グループに協力いただき、グループホーム「ほっとハウス北アルプスの家」や名店街に拠点を構える共同作業所「がんばりやさん」の利用者、介護スタッフにご協力いただきました。

新型コロナウイルス感染症により日々の暮らしが制限されるなか、「ごちゃまぜ」の日常の大切さ、その中の笑顔を支える「介護」の大切さを県民に発信できました。



▲介護の日ポスター

ケ
アコン2022の入賞
チームのうち、8チ
ムが学生でした。
入賞した学生チームを
「みらいを担うふくしび
と」として、学校ごと
紹介します。

全国の大学・短大初の「介護福祉学科」を設
立した松本短期大学。現在、幼児保育学科、介
護福祉学科を開設しています。各学科ともに
ケアの本質について理解し、人間の発達や多様
性に応じた、創造的なケアを実践できる専門家
「ケアスペシャリスト」の育成を目指しています。
介護福祉学科では、学生の個性を大切にしま
がら、利用者の持てる可能性を引き出し、輝いて
介護の仕事ができるような人間教育を重視して
います。

「なぜ？」を考えて、相手を思いやる

コロナ禍でなかなか実習に行けなかったことも
あり、「経験を積みたい」とケアコン2022へ
の参加を決めた松本短期大学介護福祉学科の各
チーム。規定部門の最優秀賞に「Aチーム」「D
チーム」「Cチーム」が入賞しました。
3チームとも規定部門の課題事例だけでは読
み取れない部分も「なぜその行動をとっているの



表彰式の様子



取材の様子



ケアコン2022に応募してくれた
介護福祉学科の皆さん

受賞作品の動画は
こちらから



WEBでも
ご覧になれます

か」「どのように本人を受容し、どう楽しんでも
らえるか」を考え、支援の根拠を明らかにし、動
画にまとめました。また、使用していた手作りの
小道具にも工夫やアイデアが詰まっていました。
空気を变える介護福祉士になりたい!

介護福祉士の国家試験を1月末に控えた2年
生の皆さん。福祉を目指したきっかけは「施設
に行ってみたら、職員さんも利用者さんも楽し
そうだったから」「母が介護現場で働いていて、
夏休みに行ってみたら、楽しかったから」など介
護現場等でのポジティブな体験が影響を与えて
いました。

「どんな介護福祉士になりたいか」そんな問
いに、中里 太陽さんは「笑いがとれる介護福
祉士になりたい!その人がいるだけでその場の
空気が明るくなって、温かくなるような介護福
祉士を目指しています。実習を行った事業所に、
そんな職員さんがいて、自分もそうなりたく
いんです」と語ってくれました。

福祉・介護の人材不足が喫緊の課題となっ
ている昨今ですが、県内には、素晴らしい専門職
の皆さんや魅力ある事業所が多くあります。そ
して、これから福祉の現場に飛び立つ彼らもま
た「未来を担うふくしびと」として後輩たちの
あこがれとなり活躍してくれることでしょう。

●ご感想、お問合せ、
掲載希望等は下記へ
お寄せください。

長野県社会福祉協議会
総務企画部 企画グループ
TEL 026-228-4244
FAX 026-228-0130
E-mail kikaku@nsyakyu.or.jp

webでもご覧になれます

長野県 福祉・
社会福祉協議会 介護べり帖



長野県福祉研修
共同サイト
きやりあねっと 信州福祉・
介護のひろば



ざわめくアート

『熱愛』(墨書)
筆ペン、カラー筆ペン

作者・中村 光次(なかむら こうじ) 59歳
軽井沢町在住



なんとも可笑しい。思わず笑ってしまう。それにしてもなぜこんな風に書いてしま
うのか?作者の墨書は漢字が分解されていたり、線が一本足りなかったり、なんか
欠けていたりいわゆる正確な文字の体をなしていないが、観る者の心をくすぐり笑
いを誘う。勿論作者は見る人がどう見るかなんてことは一向に考えていない。意味も考
えていない、いや分かっているかも。文字の意味よりもそのカタチが彼にとっては面
白く引き付けるのだろう。自閉スペクトラム障害のある人で漢字をひたすら繰り返し
繰り返し、執拗なまでに書きまくる人にたくさん出会う。カタチなのだ。そして表現
されたそのカタチはそれぞれにとってもユニークだ。

昔、知的障がいのある人のユニークな墨書を観たある書道家が、文字の意味も分か
らないで書いたものは書道作品とは言わない!と批判した人がいた。そうなのだろう
か?なんであれ、僕はそのユニークなカタチに心がざわめいたし、それが書道とは違
うというのなら、墨遊びの造形作品と呼ぶことにした。アートなのだ。

(ながのアートミーティング 取材)